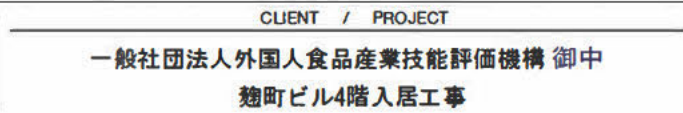


要件定義

		東京CBT試験センター	埼玉CBT試験センター
面積等	エントランス、受付、待機スペース、監視室、試験室	195.7㎡（59.3坪） （内訳） エントランス、受付、待機スペース：87.10㎡ 監視室・写真撮影室：15.6㎡ CBT試験室：93.0㎡ ※仕切り工事施工済み 天井高：2455mm	53.5坪 （内訳）最終レイアウト及び詳細設計にて決定 天井高：2540mm
CBT試験室	机の数	30	30
	机のサイズ	幅1000mm x 奥行600mm x 天板高さ720mm(衝立高さ1200mm以上)	同左
	昇降机	30台のうち1台	30台のうち1台
	椅子の数	30	30
	椅子の仕様	背もたれ・高さ調整・キャスター付き、ひじ掛け無	同左
	机の間の衝立	高さ1200mm、 奥行700mm以上（受験者が隣の席のPC画面を覗くなどの不正行為をしにくいように机の奥行(600mm)+100mm以上の奥行とする）	同左
	監視カメラ	・監視室で、不正行為がないか監視するため、CBT試験室内のすべての受験者の試験中の状況が、監視室内に設置するモニターで、モニタリングできるように監視カメラを設置すること。 ・監視カメラは、すべての受験者の手元がモニタリングできる位置に必要な台数を設置すること。 ・CBT試験室内で受験者が話した場合に、音声もモニターできる仕様のものとする。 ・モニタリング動画を音声も含めて録画・録音できること。動画の保存期間は30日。 ・OTAFFの東京本部事務所でも各OTAFF専用会場のモニタリング状況を確認できること。	同左
	CBT試験室内の通路幅	監視員が、CBT試験室内のすべての受験者について、不正行為がないか、一定の時間間隔で、巡回監視するので、巡回監視に支障のない通路幅を確保すること（机と机の間隔、壁と机の間隔等）	同左
	CBT試験用ネットワーク環境	・安定して試験配信ができるよう、試験会場専用回線を配線する（OTAFFがNTT等に申し込む）。 ・試験配信端末となる受験者用PCはLAN回線(Category 6A)でつなげる。 ・試験配信用のネットワークは、他の業務用の回線と論理的な独立を確保する。 ・試験配信方式（配信の冗長化含む）は次のA方式、B方式のいずれかとなるが、9月中旬に決定される見込みであり、現時点では未定であるので、本件公募に対する経費提案においては、A方式の場合とB方式の場合の両方とも提案していただく。いずれの方式も、配信の安定性およびセキュリティが担保されることを必須条件とする。 ・ネットワークに必要なルーター、ハブを設置する。 [A方式の場合：試験問題をリアルタイムでインターネットを通じて受験者用PCに配信する方式] ・インターネットの回線障害が発生しても、CBT試験を中止せずに試験を継続できるよう、インターネット回線を複線化する（回線の冗長化による配信の冗長化）。 ・PCは無線LANも使用できるようにしておく。 ・無線LANのwifiAP機器と設置場所は、安定的な通信ができるよう、AP機器を選定するとともに試験室の広さと形状を踏まえて、適切な位置に設置する。 [B方式の場合：インターネットを通じて、当日配信予定の試験問題を前日までに試験会場に設置するファイルサーバー(CBT配信事業者からOTAFFに2台貸与)に落とし込み、当日に同サーバーから受験者用PCに配信する。ファイルサーバー1台にPCは20台まで接続] ・同サーバーに不具合が発生し、同サーバーから受験者用PCに配信できない事態が発生した場合は、インターネットを通じてCBT配信事業者の本部サーバーから受験者PCへ配信する方式に一時的に切り替える（配信の冗長化） ・サーバーは監視室内または、事務室（または要員詰所）内にサーバーラック(セキュリティボックス)で設置・管理する。UPS（無停電装置）から電源供給する	同左
	試験用端末PC	※試験用端末については別途OTAFFが調達 (納品日調整と設置作業は、本件施工事業者が施工管理業務の一部として行う。)	同左
	トラブル時のcall	試験中にPCが固まるなどの不具合が発生した場合に、係を呼ぶためのcallスイッチをすべての受験者席に設置	同左
	仕切り工事	施工済み	・壁と扉は防音施工(CBT試験室に音漏れがしないこと) ・「監視室・撮影室」とCBT試験室の間は、スライドドアで出入り ・防音は、D-50・T-2レベル以上を <u>目安</u>

監視室・撮影室	電気工事	0Aタップ配線済み	0Aタップ、系統分け工事（系統図提出）
	0Aフロア工事	不要（現状90mm）	不要（約50mm）
	機の台数	2台（受験者の顔写真撮影用1台、監視用1台）	同左
	機のサイズ	写真撮影用：幅1000mm x 奥行600mm x 天板高さ720mm （CBT配信事業者のシステムにネットにつながったPCで、受験者がCBT試験室に入る前に顔写真を全員撮影する。机の上に、PCとPC接続したカメラと照明器具を設置） 監視用：幅1500mm x 奥行750mm x 天板高さ720mm （2人座ることがあるので、2人座れる横幅を確保。モニターが1台で済まずに2台必要になることも考慮した横幅とする）	同左
	椅子の台数	写真撮影時の受験者用1台 撮影時の係員用1台 監視員用2台	同左
	椅子の仕様	写真撮影時の受験者用：背もたれ付き、キャスターなし 撮影時の係員用：背もたれ・高さ調整付き・キャスター5本足 監視員用：背もたれ・高さ調整付き・キャスター5本足	同左
	監視用モニターサイズ	・全受験者の受験時の様子がモニタリングできる適切な大きさのものを必要台数調達し設置すること ①すべての受験者をモニタリングするために監視カメラを何台設置するのか ②監視カメラサービスの提供事業者の仕様で、モニターに最大何分割で表示されるのか ③ ①と②を踏まえて、監視モニターの必要台数を検討すること	同左
	監視用モニター台数		
	監視用PCなど	・監視用PC本体については別途0TAFFが調達（納品日調整と設置作業は、本件施工事業者が施工管理業務の一部として行う。） ・試験中に受験者からcallがあった場合に、callを押した受験者の座席番号がわかるように必要な機器を設置	同左
	CBT試験室の受験者のモニタリング	監視室において、CBT試験室内設置の監視カメラにより撮影された試験中のすべての受験者の映像と音声を監視員が常時モニタリングできること	同左
	受験者顔写真撮影用のPCネットワーク環境	LAN配線はCategory 6Aを使用。CBT配信事業者の予約管理システムに接続するので、受験者撮影用PCはLAN回線でつなぐこと	同左
	撮影場所の要件	施工済み	撮影時専用照明（0TAFFにて調達） 金属探知機（ハンディタイプ、0TAFFにて調達） 金属探知機が反応し、下着の下にスマホ等を隠し持っているなどの不正の疑いがあった場合に、係が確認する。その際に、カーテンで仕切る必要があるなので、撮影場所ですることができるようにカーテンレールとカーテンを設置する。 カーテンは、使用しないときは撮影の邪魔にならないよう束ねておけるようする。
	仕切り工事	施工済み	・壁と扉は防音施工・試験室との間にガラスパーティション。監視室と待合室はスライドドアで出入り ・防音は、D-50、T-2レベル以上を 目安
	電気工事	0Aタップ配線済み	0Aタップ、系統分け工事を行う。
	0Aフロア工事	不要（現状90mm）	不要（約50mm）
	その他	試験配信方式がB方式の場合は、サーバーラック、UPSの設置（監視室または事務室（要員詰所））	同左
事務室（要員詰所）	机	不要	・休憩用兼打合せ用の机1台（4人が座れる程度の大きさ） ・ノートPC用の電源タップ必要
	椅子		4（背もたれあり、キャスターなし、重ねて置けるタイプ）
	ロッカー		4人＋予備2人分のロッカー（上着、コート収納に適当な大きさ）
	キャビネット		1台（W880×D400×H1850）
	印刷・コピー機		1台（0TAFFで調達）、電源タップ必要、LAN回線接続必要
	その他		試験配信方式がB方式の場合は、サーバーラック、UPSの設置（監視室または事務室（要員詰所））
エントランス、受付、待機スペース	受付台	・1台（2人が並べるくらい）、コーナーカウンタータイプ ・受付用のPCを設置、電源とLAN回線接続必要 ・試験中に受験者からcallがあった場合に、callを押した受験者の座席番号がわかるように必要な機器を設置	・1台（2人が並べるくらい） ・受付用のPCを設置、電源とLAN回線接続必要 ・試験中に受験者からcallがあった場合に、callを押した受験者の座席番号がわかるように必要な機器を設置

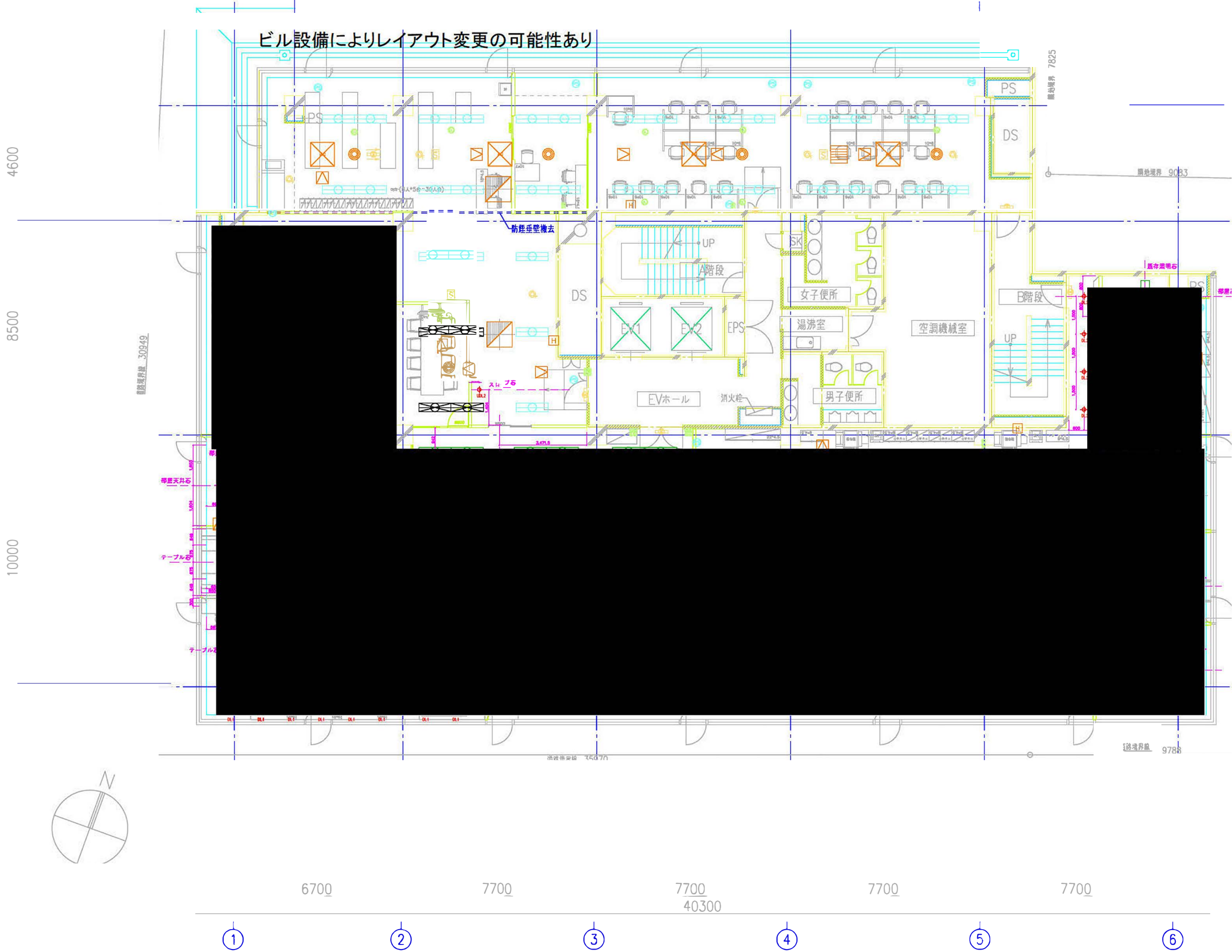
	椅子の台数	2	2
	椅子の仕様	背もたれ・ひじ掛け付き・キャスター５本足	同左
	ネットワーク環境	受付台周辺のみ有線LAN	同左
	受付業務用のPC	1台(調達は、OTAFFが行うが、納品日調整と設置作業は、本件施工事業者が施工管理業務の一部として行う。)	同左
	ロッカー	・CBT試験室の席数と同数＋予備2個程度のロッカーを設置すること ・受験者のカバン、所持品、冬場のコートを収容できる大きさのものとする ・ロッカーのカギはシリンダー錠とする	同左
	待機用椅子	CBT試験室の席数の9割の人数が座れるよう、長椅子を配置する	同左
	ウォーターサーバー	待機中の受験者用にウォーターサーバーを適切な位置に1台設置できるようスペースを確保し、電源コンセントを設置（申込は引き渡し後にOTAFFから）	同左
	案内板	・4Fエレベーターホールを出で右に曲がった正面の壁に案内板を設置する。 ・「OTAFF Tokyo Test Center」の案内板と「⇒」を設置	4Fエレベーターホール正面壁貼り付け、1Fテナント案内盤サイン、郵便受けサイン、袖看板、1F入口立て看板（「案内板設置場所写真」画像参照）
その他	救護スペース	簡易ベッド1台目設置 （隠しカーテン（上部空きタイプ）仕切りは施工済み）	不要
	施工管理関係、その他	・ネットワーク構築工事を含めて、全体の施工管理を一元的に行えること ・ビル管理会社への図面、工程表、工事申請書の提出、所轄消防署への使用開始届けの提出、防災工事の申請、施工を含めて施工管理を行うこと ・OTAFFから要請がある場合は、専用回線のNTT申込などの各種申請のサポートも行うこと	同左



TITLE

平面図

SCALE	AUTHORIZER	CHECK	DRAW	No.
A3=1:150				PJ No. 4



■電灯設備凡例

番号	記号	種別
		ベース照明(既存利用)
		撤去・ベース照明
		移設元・ベース照明
		移設先・ベース照明
		新規・ベース照明
		ベース照明(蛍光灯変更)
DL1		電球色 新機・ダウンライト 100φ
DL2		電球色 新機・ダウンライト 100φ
DL3		電球色 新機・ダウンライト 100φ
DL4		電球色 新機・ダウンライト 100φ
UDL1		電球色 新機・ダウンライト 50φ
UDL2		電球色 新機・ユニバーサルダウンライト 100
PL1		電球色 新機・ペンダントライト

■空調設備

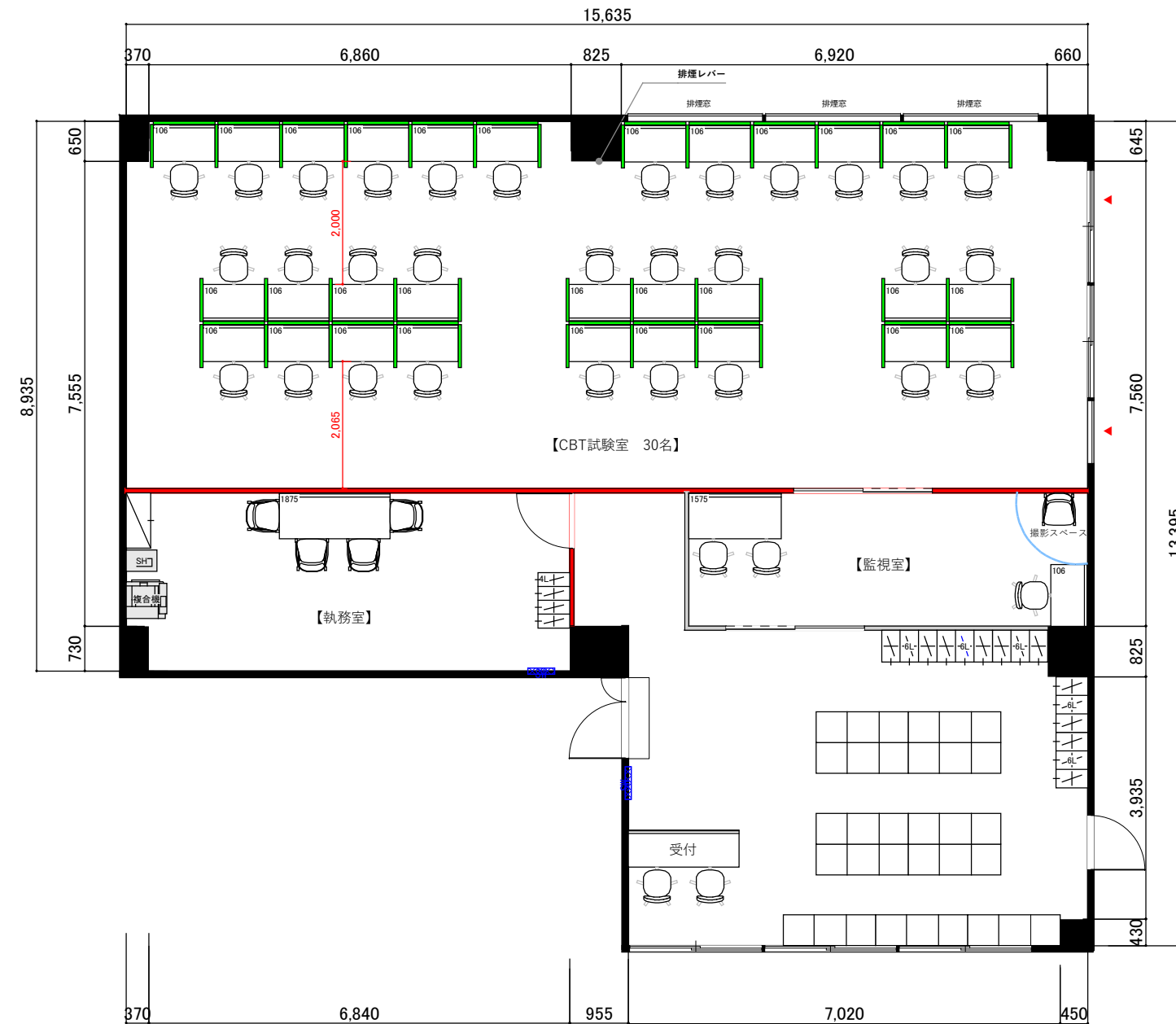
番号	記号	種別
AC001		天井埋め込みカセット型
AC002		壁掛け型エアコン
AC003		床置き型エアコン
AC004		ブリーズライン
AC005		給気口(ダクト100φ)
AC006		換気扇
AC007		吹出口(アネモ)
AC008		排煙口
AC009		吹出口
AC010		排気口
AC011		吸込口(空調)
AC012		点検口
AC013		制気口
AC014		排煙スイッチ

■消防設備

番号	記号	種別
FF1		避難口誘導灯
FF2		通路誘導灯
FF3		避難口誘導標識
FF4		通路誘導標識
FF5		非常用照明 (レドセン等100W・レドセン等100W)
FF6		非常用照明 (レドセン等100W・レドセン等100W)
FF7		非常警報設備
FF8		煙感知器
FF9		熱感知器
FF10		非常用照明
FF11		スプリンクラー

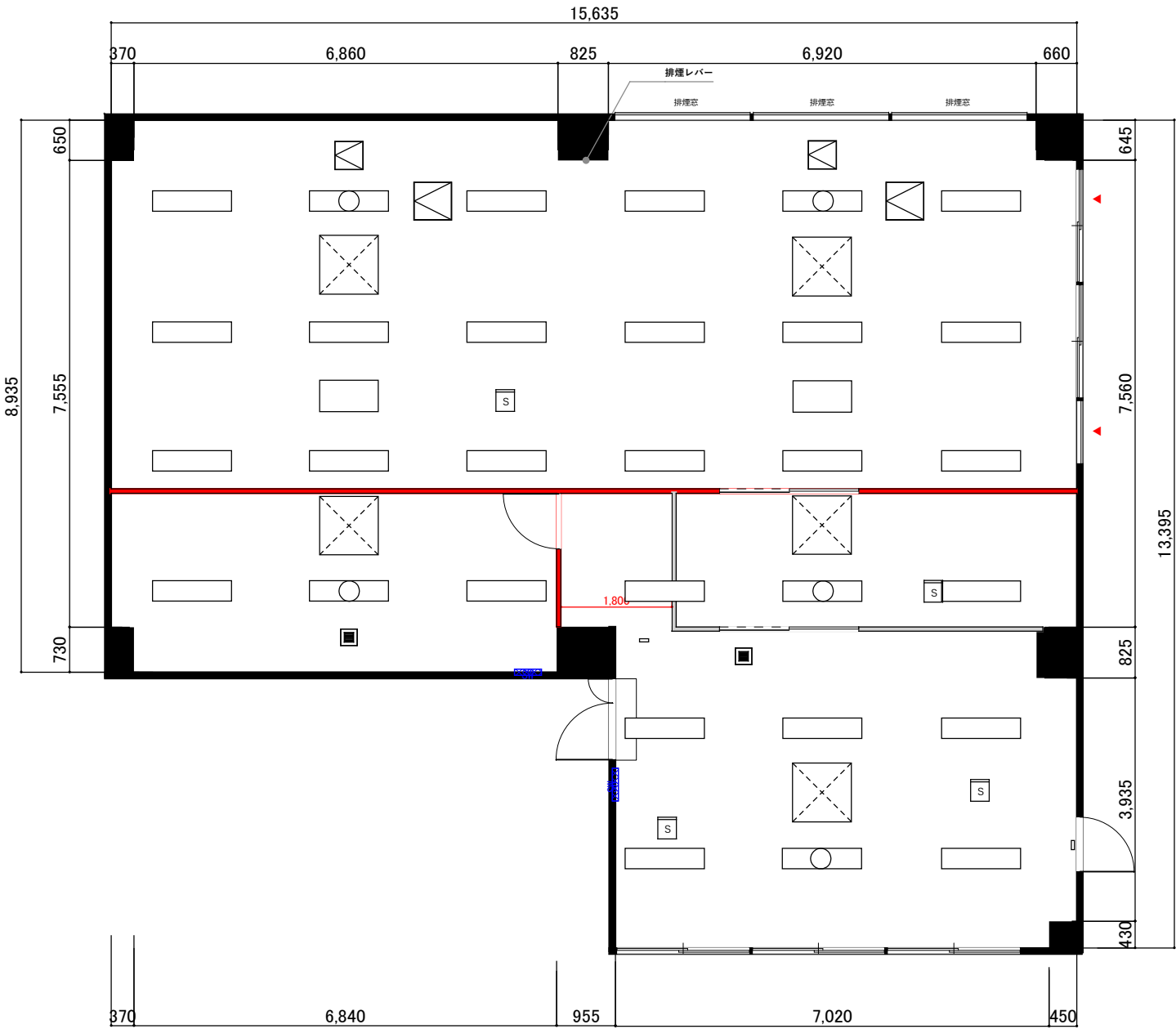
NOTES

※行政・消防・ビルに係る関係法令により計画に変更が生じる場合があります。
※構造検証・実測結果により計画に変更が生じる場合があります。



レイアウト1

天井設備 凡例	
	照明器具
	空調
	ロスナイ
	換気口
	点検口
	誘導灯
	煙感知器



レイアウト1